新日本保険新聞

（損保版）

第１～４月曜日発行
発行所　新日本保険新聞社
大阪市西区靱本町１丁目５－15
（郵便番号550-0004）
電話　（06）6225－0550（代表）
FAX　（06）6225－0551（専用）
購読料　１か月2100円
（消費税、送料込み）

©新日本保険新聞社 2011

RMCA 職種に応じた専門科目を選択

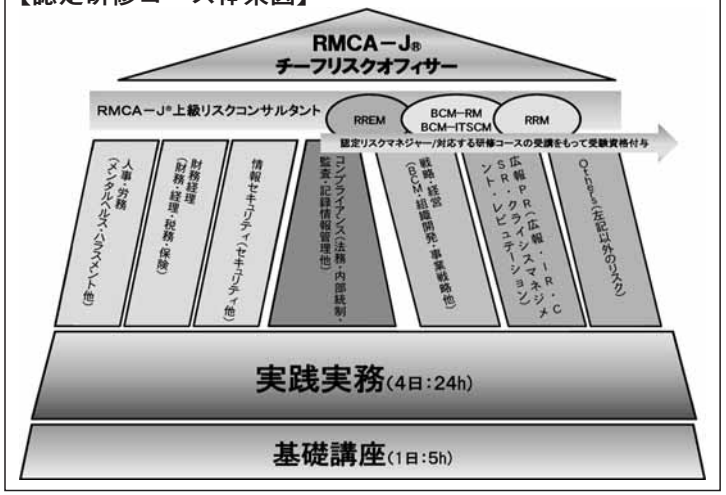
RM資格の認定プログラム一新

リスクマネジメントの知識習得者の普及に努めるNPO法人「日本リスクマネジャー&コンサルタント協会」（RMCA、東京・虎ノ門、横井千香子理事長）がこのほど、同協会が運営するRM資格の認定プログラムの内容を一新させ、プログラム内容が固まった一部の講座から順に、開講している。従来のパッケージ型のプログラムを改め、職種に応じて専門科目を選択できる点が特徴だ。

RMCAでは従来から、RMのプロフェッショナルを育成するための認定プログラムを実施してきたが、多岐にわたる職種からの受講ニーズに応じるために、このほど認定資格の名称とプログラムの内容を一新させた。プログラムの内容はより実務面に即したものに改訂。新たなプログラムではまず、RMに関する基礎講座と実践実務講座を受講し、その後に各論として「人事・労務（メンタルヘルス・ハラスメントなど）」「財務経理（財務・経理・税務・保険）」「情報セキュリティ」「コンプライアンス（法務・内部統制、監査・記録情報管理など）」「戦略・経営（BCM・組織開発・事業戦略など）」「広報PR（広報・IR・CSR・クライシスマネジメント・レピュテーション）」などの講座を選択制で、受講できるようにした。各講座の講師はそれぞれの分野の専門家が担当し、受講時間は基礎講座が5時間、実践実務が延べ4日間で計24時間、各論はそれぞれ8時間前後となっている。

各論の一部のプログラムはすでに受講可能だが、作成段階のプログラムもあり、年内をめどにすべてのプログラムを揃えたいとしている。

【認定研修コース体系図】



6月中旬に東京で基礎講座開講

実践実務および各論プログラムの一定割合を受講修了した場合に、RMCA－J®上級リスクコンサルタントの受験資格が得られ、試験合格者には同資格が付与される。ここでの合格者がさらに多くの各論プログラムを受講することで、最上位資格の受験資格が与えられ、その合格者にはRMCA－J®チーフリスクオフィサーの資格が付与される。それぞれの資格試験は今年度中をめどに開始したい考えだ。

一連のプログラムの基礎となるリスクマネジメント基礎講座はリスクマネジメントに関する国際標準規格「ISO31000」に準拠した講座内容で、同協会が作成したテキストをもとにリスクマネジメントが必要とされている時代背景や、基本的な知識、言葉の定義・考え方・手法について、概論、事例を通して認定講師が解説する。主な受講対象は企業の実務担当者。実践実務は、延べ4日間を通してリスク管理体制の構築・リスク調査・リスクコントロール対策・危機管理・財務・保険などについて学ぶほか、リスク管理規定書を作成し、自社の事業計画書に導入することを目的としている。座学のほかにグループ演習も行うなど、より実践的なカリキュラムといえる。主に企業の業務責任者を対象。

すでに東京と大阪を中心に開講しているリスクマネジメント基礎講座には一回あたり10名程度が集まり、業種は多岐にわたるものの、保険業界とりわけ保険代理店が比較的多くみられるという。

シンニチ保険Web
www.shinnihon-ins.co.jp
購読者専用サイトのパスワード
ultimate
（2011年12月31日まで）
※「1月」と「7月」に変更します。